

第2回函南町環境審議会 会議録

[日 時] 令和5年1月16日(月)13時30分～14時25分

[場 所] 函南町役場 4階特別会議室

[出席者] 委員：(会長)八木戸委員、(副会長)森委員、鈴木(和)委員、柿島委員、  
室伏委員、土屋委員、鈴木(敏)委員、宮本委員、岩田委員  
町：大沼厚生部長、加藤環境衛生課長、芹田課長補佐、笠井係長、  
株式会社日本環境工学設計事務所 稲村氏

[傍聴者] 1人

1. 開会
2. 挨拶
3. 会議

<諮問事項>

- ・函南町環境基本計画(素案)について

【事務局説明】環境審議会委員からの意見等を踏まえた修正について

【質問及び意見要旨】

委員	環境基本計画であるので、今現状が何で、何を目指して、誰が何をいつまでにするかというところがストーリーとして誰から見てもわかるようになっていけばいいと思う。後はパブリック・コメント等でご意見をいただき、言葉としては表現も含め、わかりやすくするといいと思う。目標と施策は、町の中での関係部署、部門と調整をしたうえでの選択と集中の考え方で絞り込んだものということを知っている。簡単なものだけではないと思うが、みんなで協力して実施できるといいと思う。
事務局	現状と課題と推進、今後の取り組みについて、事務局の方で精査をさせていただき中で、より町民や事業者の方がわかりやすいような表記や、取り組み推進が目で見えてわかるように修正をさせていただければと思う。
委員	あればまた報告させていただく。
委員	持ち帰って何かあればお伝えしたいと思うが、前回の素案から具体的な内容でロジックも改善されているように感じる。
委員	わかりやすくまとまっていると思う。さらに子どもたちにも分かりやすい表現で伝えられるような形にすることに期待したい。
事務局	子ども向けということで、計画の推進という方策の中で、概要版や学習会といったところでわかりやすく説明したり、広く事業者、町民、小学生などにも発信をしていきたい。なかなか今までの内容だと子どもたちに伝わりづらいということがあるので、学校の先生方とご相談させていただいた中で、学校の中でも3・4年生のかんなみ探検隊をつくられていると思うが、そういった内容も踏まえながら作れたらと考えている。
副会長	女性の目線で意見を書かせていただいた。一番身近なことだと思うのが、生ごみや可燃物などが大変多くごみに出されている。自分たちが出しているのをもう一度見直そうということで、これは資源になるとか分

副会長	別をみなさんと強化している。ペットボトルの分別や、牛乳パックを子どもたちが座る椅子に作り替えると丈夫で喜ばれる。そういう目に見えないところで取り組んでいる。古着の回収とバザーも定着しており好評である。自分も衝動買いをすることがあるが、買ってもしないということがある、タグが付いているものや袋に入ったまま出されるものもある。出すものにもう一度目を通せば、少しでも減るのではないかと思う。自分たちのできる範囲のことに、これからもみなさんと身近な問題から取り組んでいきたい。
事務局	この計画では循環型社会の形成という形では謳っているが、それを実践していくような形、住民の方々に協力していただくこと、町と一体としてやることもある。また住民の方々が行っているような、町が知りえないことなどがあると思う。情報共有をしながら進めていきたい。
会長	いただいた意見は、事務局の方で再度協議して修正する形でよいか。また、修正した場合には委員の皆様へ資料をお渡しする形でよいか。(委員賛成) 了解されたということでこの件については進めさせていただく。今後の予定について事務局より説明を求める。
事務局	素案についてご意見等があれば配付した意見記入表に記入し、1月31日までに事務局へ提出をお願いする。パブリック・コメントの募集をしたいと考えている。期間は公表日から30日間である。パブリック・コメントと意見記入表によりいただいた意見を踏まえて修正案を作成し、第3回環境審議会でご審議いただきたい。第3回環境審議会は2月の下旬を予定している。
会長	今回の審議会の意見を参考に事務局で修正のうえ、パブリック・コメントを実施してよいか。また、今回の審議会以降お気づきの点があれば、別紙の記入表に記入し事務局の方に送ってほしい。
事務局	第3回審議会で、いただいたご意見、パブリック・コメントのご意見等を参考に案を事務局で作る。案についてご審議いただき、最後に決を採っていただく形となる。その後、答申という流れになる。答申については、第3回審議会でお諮りする。
会長	事務局からの説明のとおり、今回の審議会の意見を参考に、事務局でパブリック・コメントを実施する。それを事務局でまとめ、次回審議会で審議するという流れになる。これでよろしいか。ご了解をいただいた方は挙手をいただきたい。全員挙手である。せつかく作るものであるから、より分かりやすくしていくことが大事。作ったものをきちんと読んでいただいて、それを形にしていくことが大事だと思う。そのように進めていきたい。 以上で第2回函南町環境審議会の審議を終了する。

- 4 その他  
特になし
- 5 閉会

以上